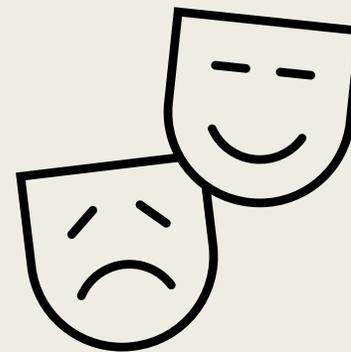


仮面の様相

製作;石黒.大須賀.矢本.馬淵.鈴木



ごあいさつ

今回の企画展では、様々な民族の仮面が、一堂に会した展示となっています。芸能、行事や儀式等で使用される仮面は世界中で製作されています。

西アフリカ、ブータン、インドネシア、モザンビーク等各地からやってきた仮面たちが、展示ケースの中で各々おしゃべりをしているようです。

不思議な表情に独特の模様。様々な個性を持つ彼らの自己紹介を参考にしながら鑑賞し、その特徴を捉えて楽しんでいただきたいと思います。

それぞれの仮面たちの声を聴き、仮面が使用されていた背景に思いを馳せてみませんか。



仮面（セヌフォ族）

西アフリカのコートジボワールのあたりに住むセヌフォ族。

そこには、“ポロ”と呼ばれる結社があるんだ。

結社では葬送儀礼や成人儀礼に仮面を使うんだよ。

仮面(ゾンゲ族)



僕はゾンゲ族の秘密結社“キフエヴェ”で使われる仮面だぞ。森の生き物や精霊に由来して作られたとされているんだ。目や口として丸がたくさん彫られていてユニークだろう。



骸骨仮面 ドルーダ

私はネパールのチベット族が使用したとされる仮面だ。仏法と羅生を魔性から護る「踊りの仮面」として使われているんだ。三つの目が魅力的だろう。頭には三つの小ドルーダ(骨)が乗っているぞ。



仮面(マコンデ族)

マコンデ族は昔から仮面や守護神の像など彫刻していたんだ。中でも僕たちは仮面は豊作の祈りや悪魔祓いなどに使われたよ。今ではお土産としても人気があるよ。